

# コミスクだより

令和6年2月29日 第3号

2月5日（月）に、今年度最後の学校運営協議会を開催しました。浜中町学校適正規模・適正配置についてや、学校行事、子供たちの様子について協議・交流しました。

## 1. 第3回学校運営協議会（2月5日月曜日）

### ○浜中町学校適正規模・適正配置検討委員会の報告・意見交換

- ・地域から学校を無くすべきではない。無くしたくない。
- ・義務教育学校への移行もよいが、若い世代がどのように考えるかも大事。
- ・人（子供）がいなくなったら学校が無くなるのは仕方がない。閉校のタイミングで他地域の学校と統合か。

### ○活動報告・決算報告について

今年度は全3回の学校運営協議会を開催しました。その他に、教育活動支援として、中学校音楽講師招聘（箏）、地域大感謝祭に関わる調理補助、消防団との避難訓練を実施しました。

安心安全メールへの登録が6名ありました。学校と地域の情報共有手段の一つとして、今後も登録の呼びかけを続けていきたいです。

活動費は、会議資料やコミスクだより発行に関わる紙代・印刷代、講師謝礼として支出させていただきました。



## ○次年度の活動について

- 行事参観、授業参観、登下校見守りは継続
- 地域の人材活用…今年度の活動に加え、漁協青年部との漁業に関わる学習の機会を設けたい  
⇒漁業に関わる出前授業は、小学生にも中学生にも実施できそう。散布漁協青年部だけではなく、他地域の漁協青年部と連携した出前授業も実施可能（時期にもよるが）。
- 委員体制について…学校の在り方について話し合う場には、『保護者』の他に『地域の方』や『将来の地域の担い手である若い世代』がいるとよい。  
⇒散布保育所の保護者に打診する。

## 2. 1年間を振り返って

毎回の協議の中で、『子供のために』『地域の活性化のために』という視点での話し合いが活発に行われ、学校や地域の未来について真剣に議論されています。会議に参加している委員の皆様からは、「地域ではこんな話を聞いたよ」といった話題も提供していただいています。地域の多くの方が『学校の応援団』としてのコミスクの活動に関わってくれていると改めて実感しています。

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、活動にも幅が出てきています。来年度も、学校と地域が手を取り合い、コミスクの活動を見直しつつ、散布地区の更なる活性化を目指していきたいです。



1年間のコミスクへのご協力、ありがとうございました。

来年度もどうぞよろしく申し上げます。